

第24回経営協議会議事録

日 時 平成21年6月9日（火）10時00分～12時12分

場 所 特別会議室

出席者 (学外委員)

赤岩委員、竹岡委員、鶴保委員、長友委員、安田委員

(学内委員)

学長、辻理事、酒井理事、三木理事、蔵理事、福田電気通信学部長

多田情報システム学研究科長

(オブザーバー)

田中副学長、田野副学長、由良副学長、前田監事

第23回経営協議会議事録報告承認（発言者名入りの議事録）

議 題

□審議事項

1. 第二期中期目標・中期計画について (資料①-1～2)
2. 平成20年度業務実績報告書について (資料②-1～2)
3. 大学機関別認証評価自己評価書について (資料③)
4. 平成20年度決算(案)について (資料④-1～7)
5. 電気通信大学キャンパスマスタープラン(案)について (資料⑤)
6. 設備マスタープラン(案)について (資料⑥)
7. 平成22年度概算要求(案)について (資料⑦-1～6)
8. 平成21年度間接経費の使途について (資料⑧-1～2)
9. 規程の一部改正について (資料⑨-1～5)

□報告事項

1. 平成20年度間接経費等の執行状況について (資料⑩-1～3)

議 題

審議事項1 第二期中期目標・中期計画について

梶谷学長から、国立大学法人の組織及び業務全般の見直しについて、文部科学大臣決定通知があり、この通知に沿って第二期中期目標・中期計画の見直しを行った旨説明があった。次いで、酒井理事から、第二期中期目標・中期計画（案）の内容について説明があり、以下の議論の結果、意見を参考に修正を行い、今後の修正等については、学長に一任することとし、これを承認した。

(学外委員) 「大学院教育の充実について」、「全学推進体制の構築について」、「学生メンター制度について」、「産学官連携推進センターの充実について」、「多摩地区との連携の明文化について」、「テニユアトラック制度について」、「コンプライアンスについて」は、評価できるが、「学部教育について」は、目新しさが欠けていて評価できない。

(学外委員) アドミッションポリシーに基づきでは意味を成さないため、本学のアドミッションポリシーは何なのか骨子を書くべきではないか。

学士課程の教育については、教養教育を圧縮し専門教育を重視するように思える。それが特色なのであればいいのかもしれないが。

多目的学習室等の整備やFD実施体制を整備するとあるが、すでに実施しているのではないか。

メンターは、カタカナではなくて助言者でいいのではないか。

教員組織の在り方の検証と教員組織の一元化との関連はどうなるのか。

事務組織等の検証を行い、必要に応じて改善とあるが、必要がなければ改善しないことになるので、本当にやるつもりなら統廃合により効率化を図るとかにすべきではないか。

コンプライアンスとあるが、必ずしも法令遵守だけの意味ではないという人もいるので、法令遵守を意味するなら、カタカナは使わない方がいいのではないか。

(学外委員) 地域の青少年教育についてやベンチャー支援については、具体的に書かれている項目だが、学部教育、学士課程での教育については、4行程度で書くとなると、抽象的になってしまうのだろう。一方、計画で詳細に書く柔軟に対応できなくなるおそれがある。方向性の柱を書き、具体化は各年度に計画を立てて実行する、その後に検証する、というような、プロセスを書く、という方法も考えられる。

外部資金の獲得状況についても、獲得に向けての取組み等を少し加えてもいいのではないか。

(学内委員) 6年間の計画を書かなくてはいけないため、全学的かつ戦略的な取組みの書き方を工夫しないといけない。

(学外委員) これくらいシンプルになれば作業量も減らせるのではないか。

UECビジョン2018は、非常に重要であり、総合的高度コミュニケーション社会を支えられる体制を構築していただきたい。このレベルの高いビジョンを実現するためには、新しい研究者を招聘するなどスクラップ・アンド・ビルドが必要ではないか。

審議事項 2 平成 20 年度業務実績報告書について

酒井理事から、平成 20 年度業務実績報告書について説明があり、以下の議論の結果、梶谷学長より、今後の修正等については、学長に一任してほしい旨提案があり、これを承認し、文部科学省へ提出することとした。

(学外委員) 教育研究組織の抜本的改革を進めているのにⅢでは謙虚すぎないか。

(学外委員) ビジョン 2018 のところをⅣにするというのはいいが、判断理由をもっと書く必要があるのではないか。

審議事項 3 大学機関別認証評価自己評価書について

酒井理事から、前回の資料をより簡潔な表現に改めた旨説明があった。

次いで、梶谷学長より、さらに精査をしたいため、今後の修正等については、学長に一任してほしい旨提案があり、これを承認し、大学評価・学位授与機構へ提出することとした。

審議事項 4 平成 20 年度決算(案)について

辻理事から、平成 20 年度決算の概要(貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、業務実施コスト計算書、外部資金を含めた全体像等)について、今後、監事及び監査法人から正式な報告書を受けて文部科学省へ提出し承認を受ける旨説明があり、以下の議論の結果、これを承認した。

(学外委員) 資料④-5 の外部資金を含めた総事業費概要は理解しやすい。

大学の方針としては、科研費等の外部資金を増やしていくのか。

(学内委員) 科研費や産学連携・寄付金収入を増やしていき、人件費等の足りないところを補っていくような戦略が必要と考えている。

(学外委員) 科研費採択率を上げるため、丁寧に解析し、申請しない場合にはペナルティを科すなど、獲得するために取り組んではどうか。

(学内委員) 学内でもっと競争をしてもらうため、研究活性化支援システムという制度をつくってみたが、応募者が少ないのが現状で、どのように活性化していくか非常に大きな課題となっている。

(学外委員) 外部資金の獲得状況が外部から見える仕組みを作ってはどうか。

(学内委員) 外部資金の獲得状況は、外部から見ることはできないが、教員基本データベースで確認することはできる。しかし、教員が自らデータを入力するため、データ更新が間に合わず、現状は、活用するのが難しい。科研費を管理しているところのデータベースから繋がるような、統一的なデータベースを構築して利用できるようにしたいし、外部資金を含めたデータの年次変化も分かるようにしたい。

審議事項 5 電気通信大学キャンパスマスタープラン(案)について

辻理事から、キャンパスマスタープランについて、キャンパスの全体像において、調布宿舎を区分けしたこと、L棟、B棟の改修が平成 20 年度及び平成 21 年度の補正予算で承認されたことから、平成 22 年度以降の概算要求順位及びこれに関連する箇所の修正、その他、文言等の整理を行いたいこと、また、

施設整備の進捗に応じ「キャンパスマスタープラン」及び「当面の施設整備計画」について、毎年度見直しを行うこととしたい旨説明があり、これを承認した。

審議事項6 設備マスタープラン(案)について

酒井理事から、設備マスタープランについて、今年度、地域・産学官連携推進機構が改組されたことにより、研究設備センターにおいて全学に共通設備の更新等の必要性、緊急性等について調査を行い、年度別の設備整備計画を作成した旨、また、これに伴い必要な文言等の修正を行った旨説明があり、これを承認した。

審議事項7 平成22年度概算要求(案)について

辻理事から、平成22年度概算要求について、改組関係、重点事項の概要(プロジェクト分、組織整備、基盤的設備等整備分)、特別経費、施設整備関係について説明があり、これを承認した。

なお、特別経費(プロジェクト分)を要求するに当たり、文部科学省から指定された6項目の内、次の4項目を選択することとした。

- ①国際的に卓越した教育研究拠点機能の充実
- ②高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実
- ④大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実
- ⑤産学連携機能の充実

審議事項8 平成21年度間接経費の使途について

辻理事から、平成21年度間接経費の活用方針に基づく各事業への配分額について説明があった。

次いで、梶谷学長から、文部科学省へ申請を予定している事業に採択された場合は、当該配分額を組み換えることとしたい旨説明があり、これを承認した。

審議事項9 規程の一部改正について

辻理事から、前回の本会議において承認された国に準じた給与法改正に伴い、本学職員給与規程等関係規程の一部改正を行いたい旨説明があり、これを承認した。

報告事項1 平成20年度間接経費等の執行状況について

辻理事から、平成20年度間接経費等の執行状況について、平成20年度の間接経費の執行状況、奨学寄附金共通経費及び学長裁量経費等の執行状況について説明があり、残額については、繰越金とした旨報告があった。

(閉会 12時12分)

[配付資料]

- ①- 1. 第二期中期目標・中期計画検討資料
- ①- 2. 国立大学法人の組織及び業務全般の見直しについて
- ②- 1. 平成20事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)
- ②- 2. 国立大学法人及び大学共同利用機関法人の各年度終了時の評価に係る実施要領
(抜粋 p. 5)
- ③. 大学機関別認証評価自己評価書(案)
- ④- 1. 平成20年度決算の概要について
- ④- 2. 平成20事業年度財務諸表(案)
- ④- 3. 平成20事業年度事業報告書(案)
- ④- 4. 平成20年度決算報告書(案)
- ④- 5. 電気通信大学総事業費概要
- ④- 6. 決算報告書上の利益と損益計算上の利益について
- ④- 7. 財務諸表と決算報告書の関係
- ⑤. 電気通信大学キャンパスマスタープラン(案)
- ⑥. 設備マスタープラン(案)
- ⑦- 1. 平成22年度概算に係る重点事項の概要
- ⑦- 2. 「特殊要因経費」及び「特別経費」に係る組替表
- ⑦- 3. 第2期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の配分ルールについて(案)
- ⑦- 4. 平成22年度の国立大学運営費交付金による支援に係る留意点について
- ⑦- 5. 平成22年度の国立大学法人及び大学共同利用機関法人における学術研究活動に対する支援について
- ⑦- 6. 平成22年度概算要求事項(施設整備関係)(案)
- ⑧- 1. 平成21年度間接経費の活用方針に基づく各事業への配分額について
- ⑧- 2. 間接経費等の活用方針
- ⑨- 1. 給与法改正に伴う本学職員給与規程等の一部改正について(案)
- ⑨- 2. 国立大学法人電気通信大学役員報酬規程の一部改正(案)
- ⑨- 3. 国立大学法人電気通信大学職員給与規程の一部改正(案)
- ⑨- 4. 給与規程の一部改正に伴う「国立大学法人電気通信大学職員育児休業規程」の一部改正(案)
- ⑨- 5. 国立大学法人電気通信大学期末手当、勤勉手当及び期末特別手当支給細則の一部改正(案)
- ⑩- 1. 平成20年度間接経費の執行状況
- ⑩- 1. 平成20年度奨学寄附金共通経費の執行報告
- ⑩- 1. 平成20年度学長裁量経費等の執行報告

[参考資料]

- 1. UEC コミュニケーション(No. 17～18)